

令和6年度 第1回さいたま市バリアフリー専門部会

バリアフリー整備に関する利用者 アンケートの結果(概要)



目次

1. アンケート調査実施概要	3
2. アンケート調査結果	6
•単純集計	6
•エリア別集計	12
•障害別等自由意見	21
•特定事業ごとの評価と課題	29

アンケート調査実施概要

(1)背景

「さいたま市バリアフリー基本構想(令和4年3月改定)」では、バリアフリー施策の段階的・継続的な発展を図っていくこととしています。

これまで事業進捗率、まちあるき勉強会による評価を行ってきましたが、**利用者目線での評価を強化するため**、アンケート調査を実施しました。(令和5年度試行→令和6年度本格実施)

事業者側からの評価

事業進捗率により定量的に評価



専門部会での指摘

利用者目線での評価が足りていない

利用者側からの評価

「まちあるき勉強会」を通じた現地確認



※調査対象エリアは限定的

これまで

継続

効果検証

地区全体を調査

継続

これから

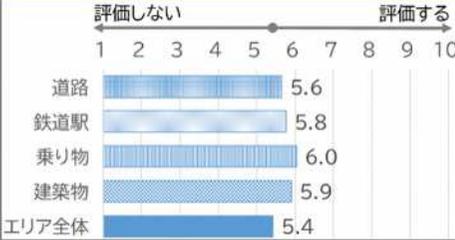
分析方法を改良しながら継続



連動

アンケートによる利用者評価

大宮駅周辺のバリアフリー評価



補完

「まちあるき勉強会」を継続

- ・アンケート調査の補完
- ・バリアフリー情報の収集

など

アンケート調査実施概要

(2)目的

「さいたま市バリアフリー基本構想(令和4年3月改定)」で設定した重点整備地区6地区の利用者目線の評価を強化するため、現状・課題を把握する。

<重点整備地区6地区>

大宮駅、北浦和駅、浦和駅、さいたま新都心駅・北与野駅、武蔵浦和駅、岩槻駅周辺

(3)調査方法

市内在住の障害者手帳保有者および部会員の当事者団体に所属している方を対象に実施(詳細は次頁)。

(4)配布資料

- ・依頼文
- ・アンケート調査票
- ・案内図
- ・返信用封筒

さいたま市バリアフリーのまちづくりに関するアンケート
調査票

この調査票のみ返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

I. ご本人についてお聞きします。※個人情報収集以外の目的には使用しません

ご本人について、それぞれあてはまるものに✓印をつけてください。

お住まいの区 (あてはまるもの1つ)	<input type="checkbox"/> 1. 西区 <input type="checkbox"/> 2. 北区 <input type="checkbox"/> 3. 大宮区 <input type="checkbox"/> 4. 見沼区 <input type="checkbox"/> 5. 中央区 <input type="checkbox"/> 6. 桜区 <input type="checkbox"/> 7. 浦和区 <input type="checkbox"/> 8. 南区 <input type="checkbox"/> 9. 緑区 <input type="checkbox"/> 10. 岩槻区 <input type="checkbox"/> 11. その他()
性別 (あてはまるもの1つ)	<input type="checkbox"/> 1. 男性 <input type="checkbox"/> 2. 女性 <input type="checkbox"/> 3. 回答しない
年齢 (あてはまるもの1つ)	<input type="checkbox"/> 1. 20歳未満 <input type="checkbox"/> 2. 20歳代 <input type="checkbox"/> 3. 30歳代 <input type="checkbox"/> 4. 40歳代 <input type="checkbox"/> 5. 50歳代 <input type="checkbox"/> 6. 60~64歳 <input type="checkbox"/> 7. 65~69歳 <input type="checkbox"/> 8. 70~74歳 <input type="checkbox"/> 9. 75~79歳 <input type="checkbox"/> 10. 80歳以上
外出時に使用する 歩行補助用具等 (あてはまるもの全て)	<input type="checkbox"/> 1. 歩行に支障なし ⇒ ベビーカーを使用(<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない) <input type="checkbox"/> 2. 手すり(つたい歩き) <input type="checkbox"/> 3. 杖 <input type="checkbox"/> 4. 歩行車・シルバーカー(手押し車) <input type="checkbox"/> 5. シニアカー <input type="checkbox"/> 6. 車椅子 <input type="checkbox"/> 7. 白杖 <input type="checkbox"/> 8. 補助犬 <input type="checkbox"/> 9. 介助者 <input type="checkbox"/> 10. その他()
ご本人の状況 (あてはまるもの全て)	<input type="checkbox"/> 1. 障害者又は要支援・要介護者 ⇒ 以下の「障害の種類」「所有している障害者手帳の種類と等級」へ <input type="checkbox"/> 2. 同居者に未就学(0歳~6歳)の児童がいる } ⇒ 裏面へ <input type="checkbox"/> 3. 妊娠中である <input type="checkbox"/> 4. いずれも該当しない

※ご本人の状況で「1. 障害者又は要支援・要介護者」に該当する方

障害等の種類 (あてはまるもの全て)	<input type="checkbox"/> 1. 視覚障害 <input type="checkbox"/> 2. 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 3. 言語障害 <input type="checkbox"/> 4. 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 5. 内部障害(心臓機能障害、呼吸器機能障害など) <input type="checkbox"/> 6. 難病 <input type="checkbox"/> 7. 知的障害 <input type="checkbox"/> 8. 発達障害 <input type="checkbox"/> 9. 精神障害 <input type="checkbox"/> 10. 高次脳機能障害 <input type="checkbox"/> 11. 病弱・虚弱、高齢などの理由による要支援・介護 <input type="checkbox"/> 12. その他()
所有している 障害者手帳の 種類と等級 (あてはまるもの全て)	<input type="checkbox"/> 1. 身体障害者手帳(総合等級) (該当する等級 → <input type="checkbox"/> 1級 <input type="checkbox"/> 2級 <input type="checkbox"/> 3級 <input type="checkbox"/> 4級 <input type="checkbox"/> 5級 <input type="checkbox"/> 6級) <input type="checkbox"/> 2. 療育手帳(該当する等級 → <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C) <input type="checkbox"/> 3. 精神障害者保健福祉手帳(該当する等級 → <input type="checkbox"/> 1級 <input type="checkbox"/> 2級 <input type="checkbox"/> 3級) <input type="checkbox"/> 4. 持っていない <input type="checkbox"/> 5. わからない

1 ⇒ 裏面へ続く

アンケート調査票(一部)

アンケート調査実施概要

(5)配布数・回収数等

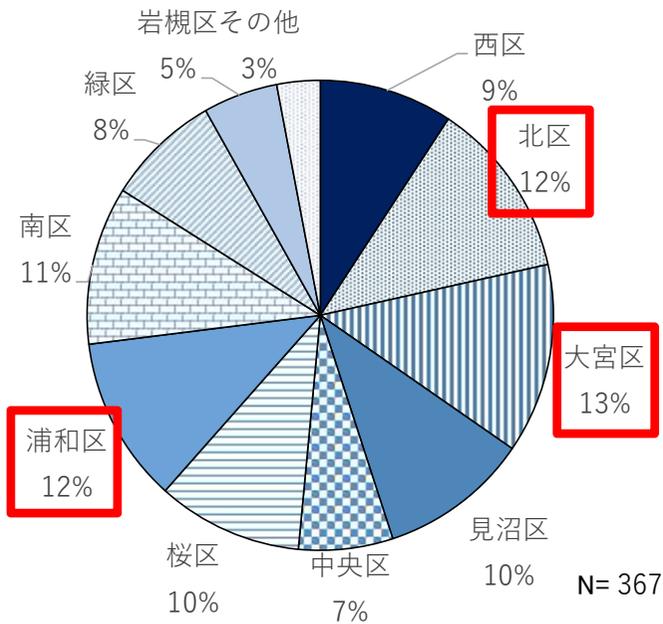
合計1,330部配布し、367部の回答を得ました。

調査対象	障害者手帳保有者	当事者団体所属者
配布数 配布方法	<p>無作為抽出を行い、1,000部 (うち、宛先不明58名、受箱封鎖1名、死亡1名)</p> <p>※個人宛に郵送配布</p>	<p>○さいたま市老人クラブ連合会： 30部 ○NPO法人 彩の子ネットワーク： 50部 ●NPO法人 さいたま市視覚障害者福祉協会： 50部 ●さいたま市聴覚障害者協会： 50部 ●さいたま市精神障害者当事者会ウィーズ： 50部 ●埼玉県自閉症協会さいたま市地区： 50部 ●一般社団法人さいたま市手をつなぐ育成会： 50部 →合計 330部</p> <p>※○：直接団体に郵送等で配布 ※●：さいたま市障害者協議会を通じて各団体に配布</p>
回収期間	2024年9月9日(月)～ 2024年11月6日(水)	2024年10月8日(火)～ 2024年10月25日(金)
回収数	250部	117部
	367部	

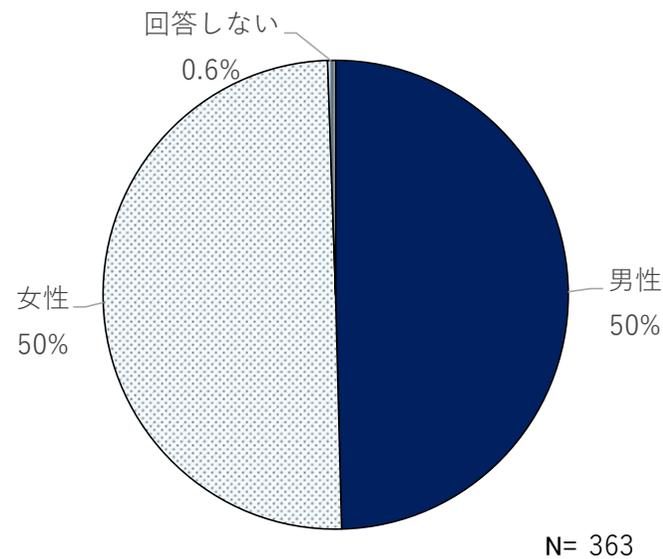
アンケート調査結果【単純集計】

回答者の属性

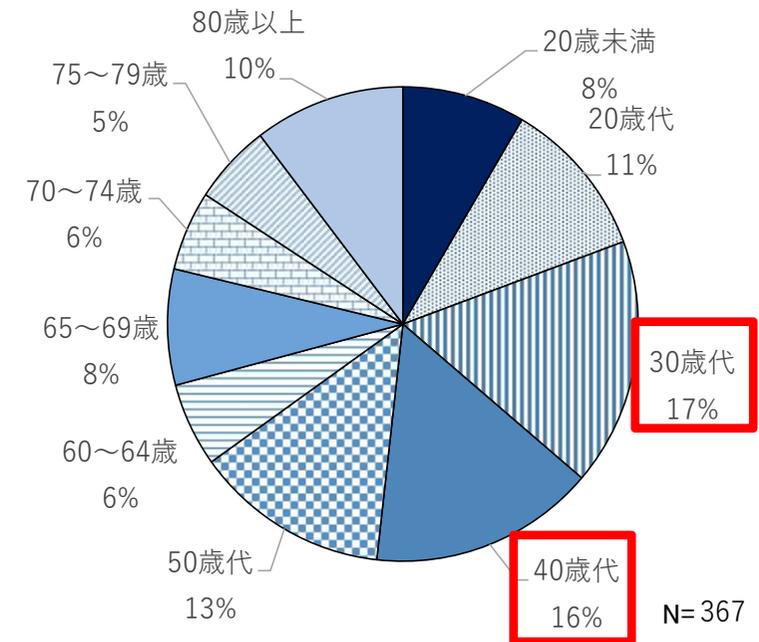
- 居住区：各地区5～13%の割合、大宮区(13%)、北区・浦和区(12%)が比較的多い。
- 性別：男女の割合は同程度。
- 年齢：30歳代(17%)が最も多く、次いで40歳代(16%)。



居住区



性別

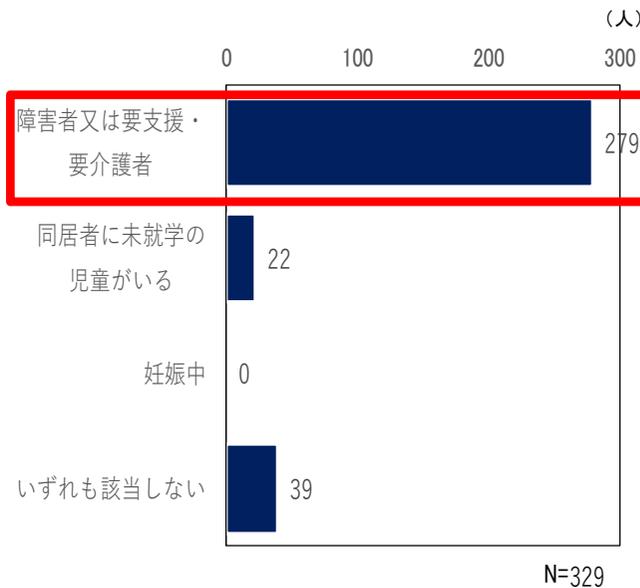


年齢

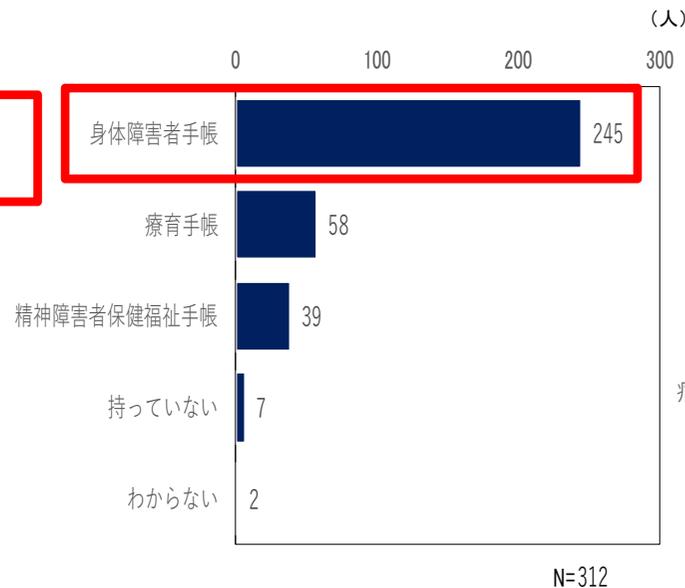
アンケート調査結果【単純集計】

回答者の状況等

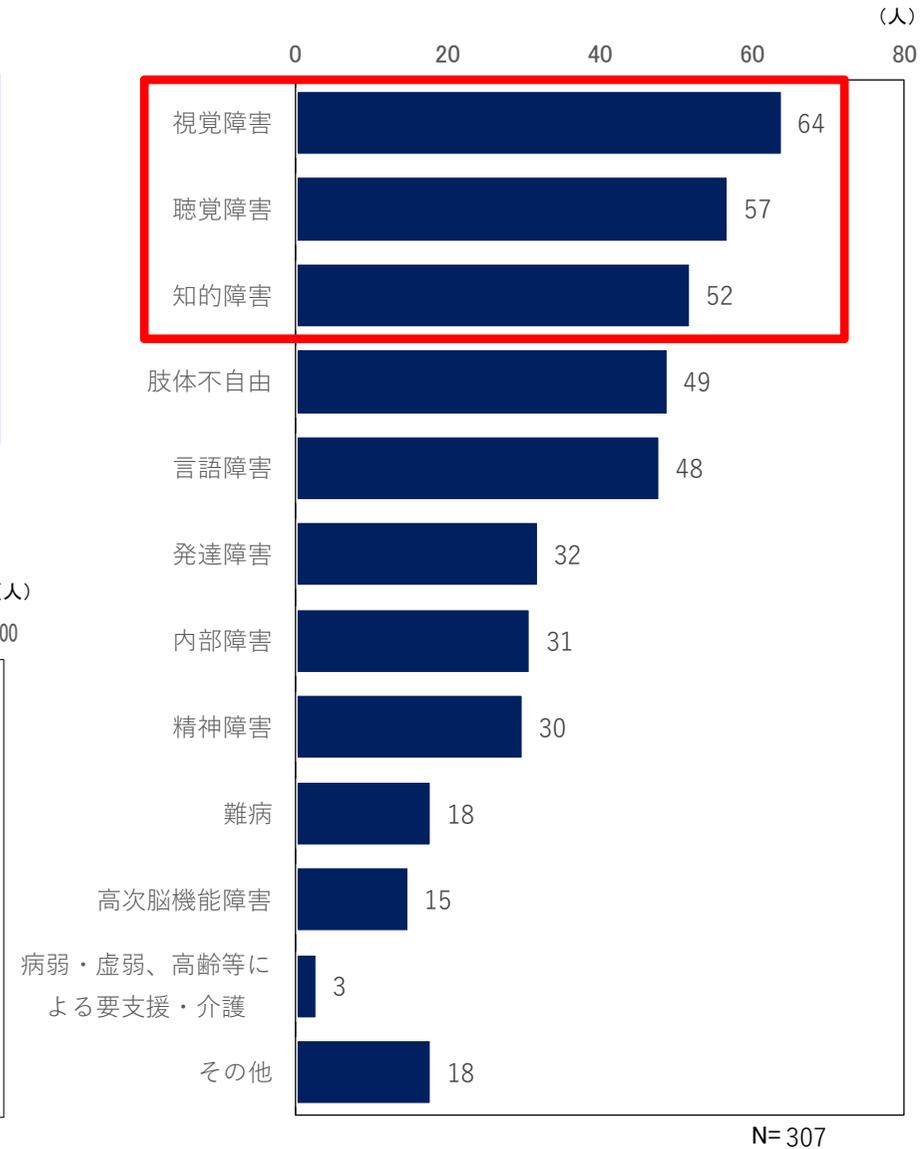
- 回答者の状況 : 「障害者又は要支援・要介護者」が多い。
- 障害者手帳の種類 : 「身体障害者手帳」が多い。
- 障害等の種類 : 「視覚障害」が最も多く、次いで「聴覚障害」、「知的障害」。



本人の状況



所有している障害者手帳の種類

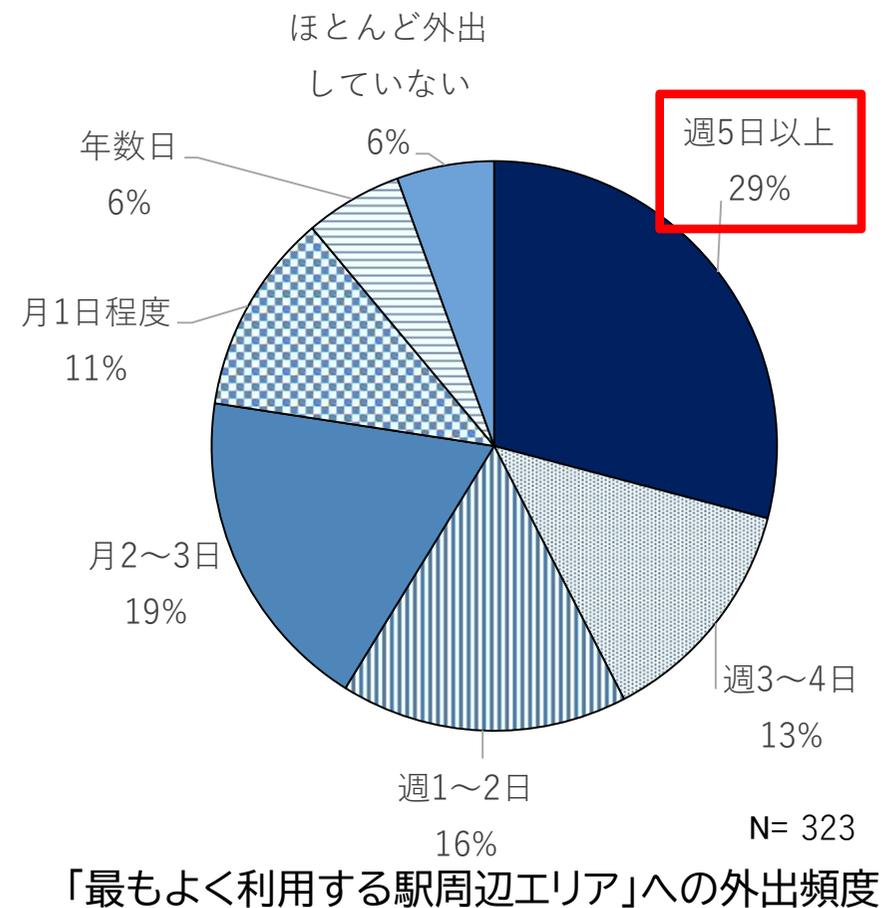
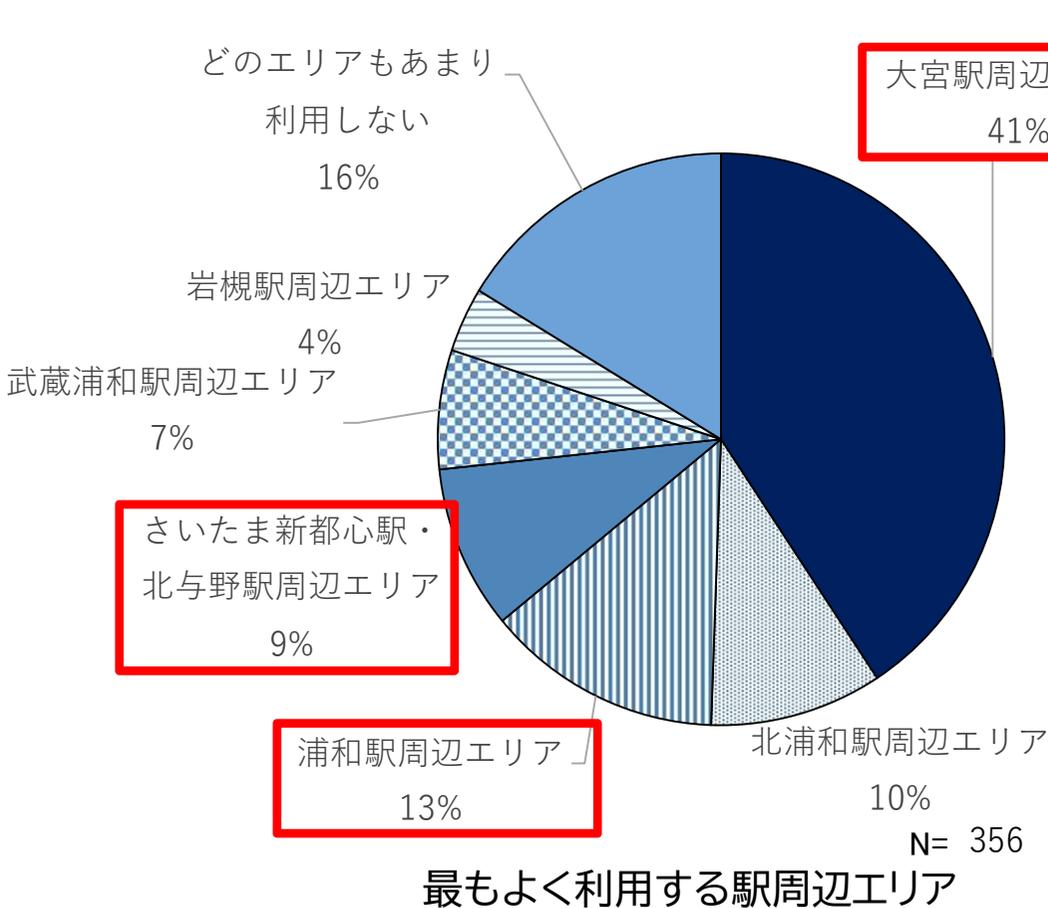


障害等の種類

アンケート調査結果【単純集計】

最もよく利用する駅周辺エリア・外出頻度

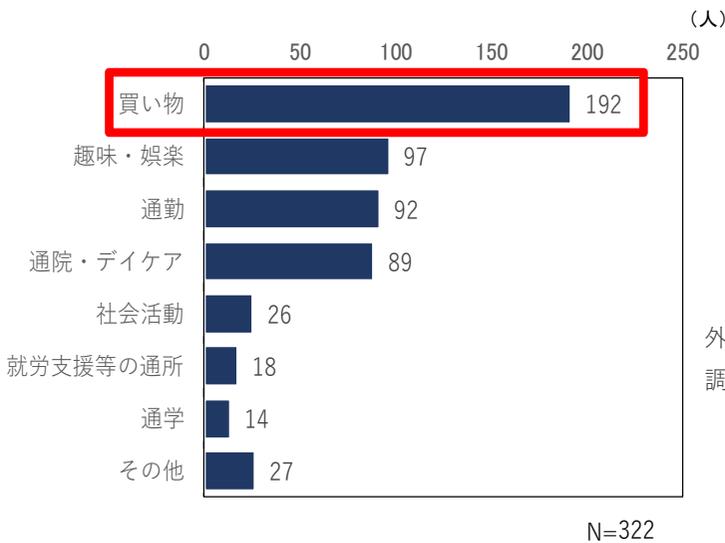
- 最もよく利用する駅周辺エリア：「大宮駅周辺エリア」(41%)が最も多く、次いで「浦和駅周辺エリア」、「さいたま新都心・北与野駅周辺エリア」。
- 外出頻度：週5日以上(29%)が最も多い。



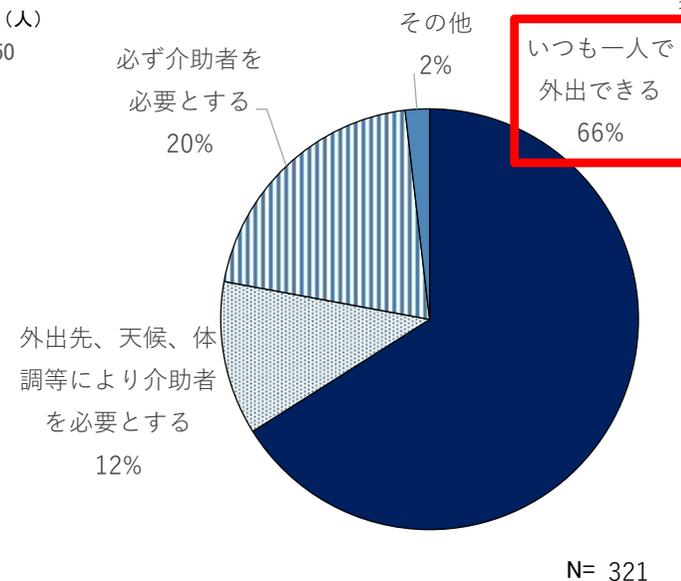
アンケート調査結果【単純集計】

外出・移動について

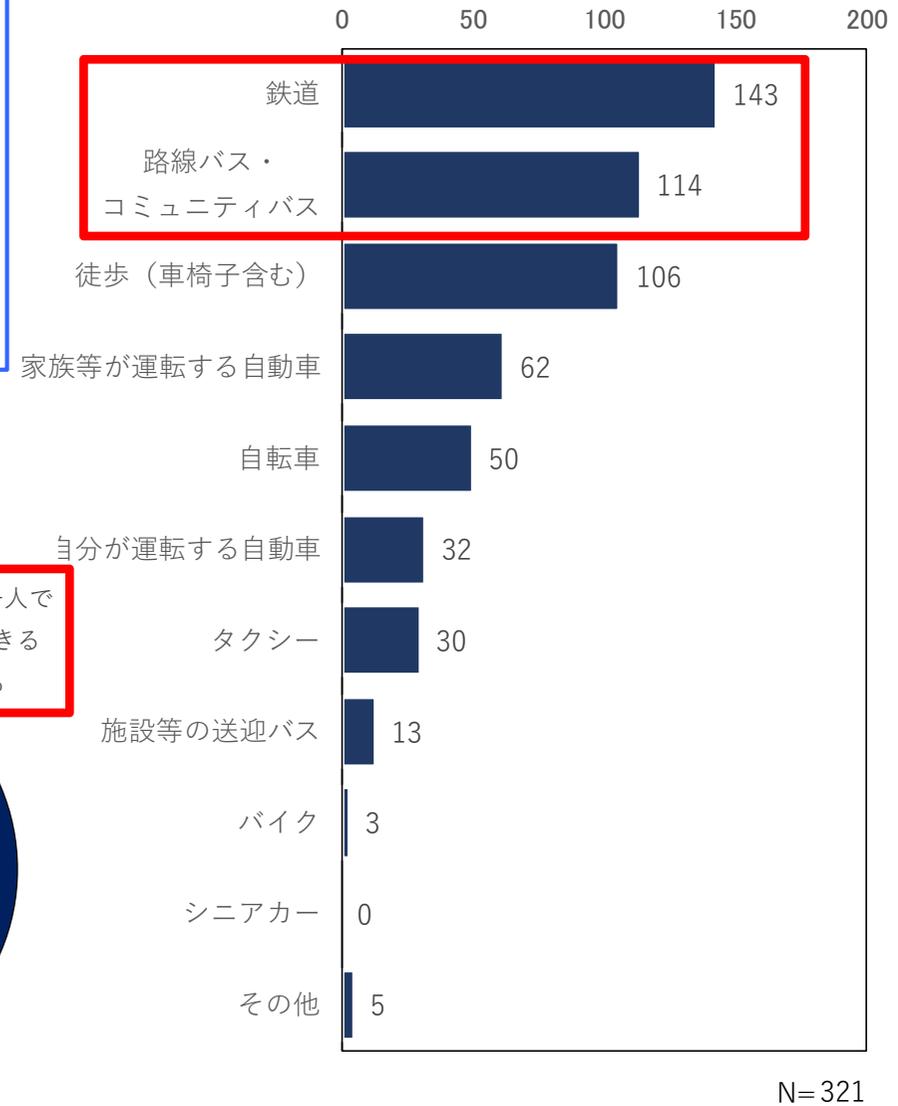
- 外出目的 : 「買い物」(192人)で最も多い。
- 介助者の必要性 : 「いつも一人で外出できる」(66%)が最も多い。
- 移動手段 : 「鉄道」、「路線バス・コミュニティバス」の順に多く、公共交通機関の利用が多い。



外出目的



介助者の必要性

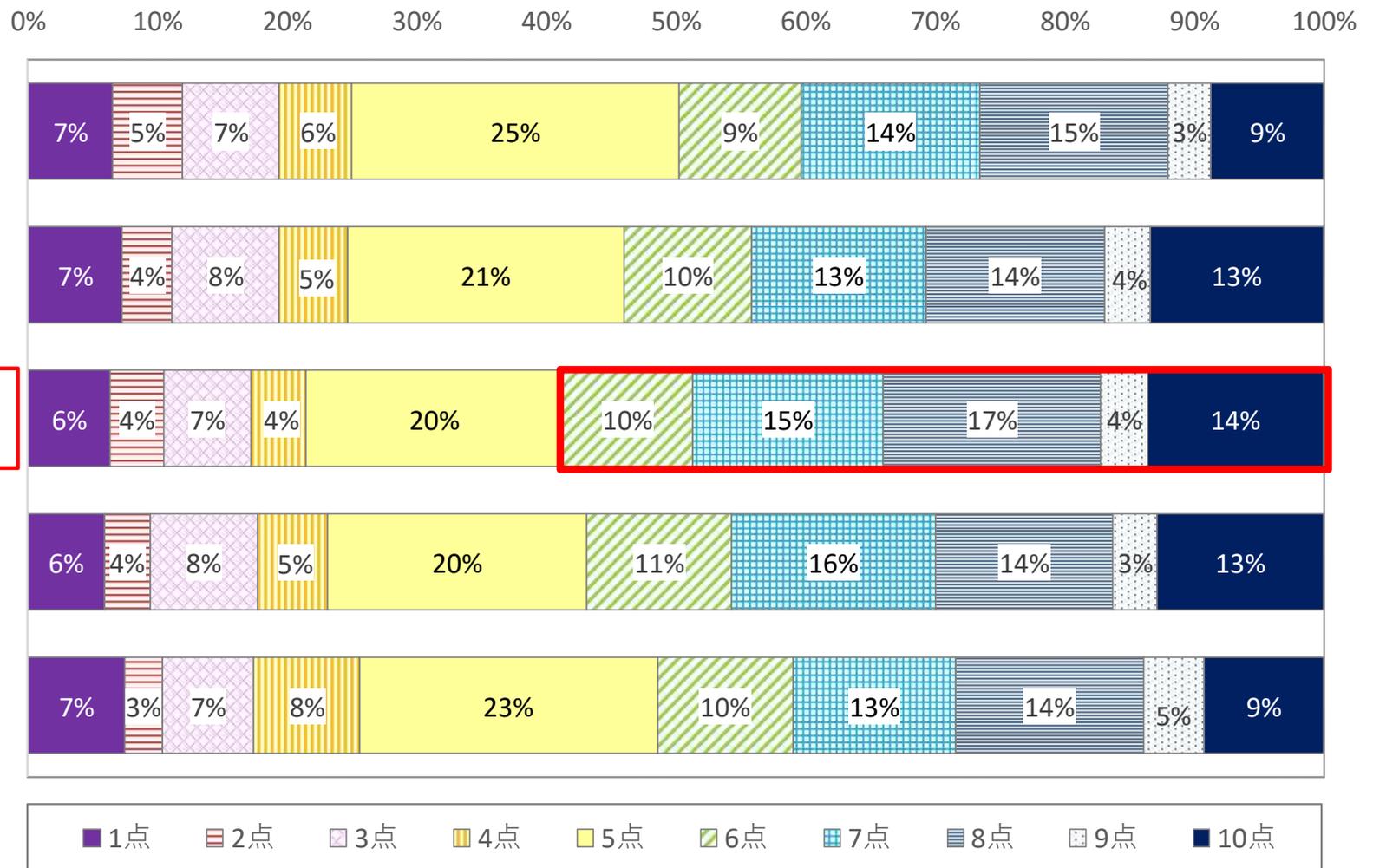


移動手段

アンケート調査結果【単純集計】

現状に対する評価(全体):1~10点評価

- 鉄道・バス・タクシーに関する「乗り物」は平均値6.2点と最も高い。
- 「乗り物」は、10段階評価のうち6点以上を選択した人の割合も最も高く、他の項目より高評価。

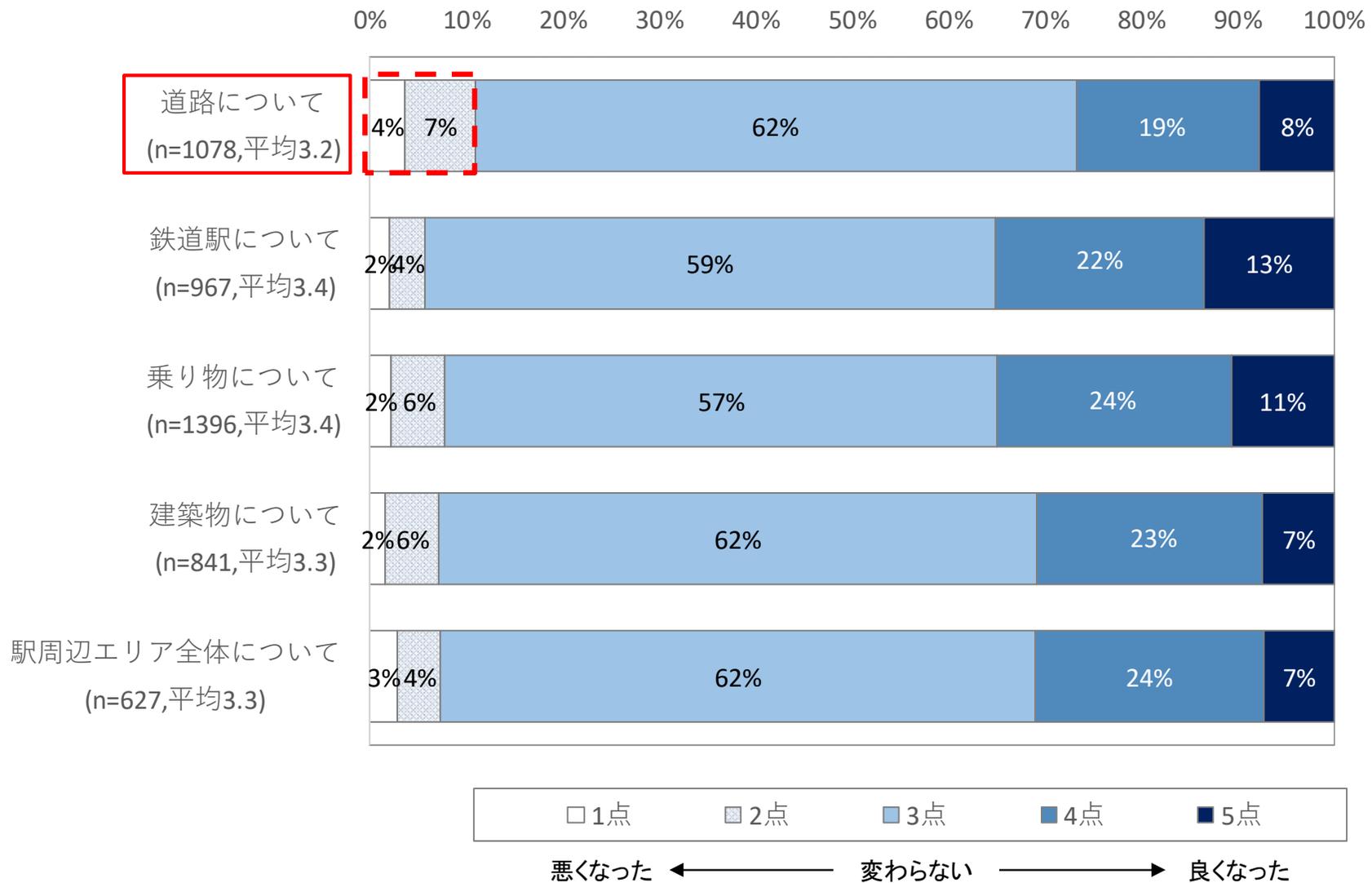


評価しない ← → 評価する

アンケート調査結果【単純集計】

5年前からの変化の実感(全体):1~5点評価

- 平均値はいずれも3点以上、やや良くなったと評価されている。
- 「道路」は低評価寄りの1点、2点の割合が高い。



アンケート調査結果【エリア別集計】

➤ エリア別の特徴や課題を確認するため、
(エリア×アンケート項目×評価)
で集計した。

エリア

- 1 大宮駅周辺エリア
 - 2 北浦和駅周辺エリア
 - 3 浦和駅周辺エリア
 - 4 さいたま新都心駅・
北与野駅周辺エリア
 - 5 武蔵浦和駅周辺エリア
 - 6 岩槻駅周辺エリア
- 全体

×

×

評価

- ・現状に対する評価
- ・5年前からの変化の実感

アンケート項目

A 道路	歩道通行	歩道の通行のしやすさ
	ブロック	視覚障害者誘導用ブロックの利用のしやすさ
	デッキ	ペDESTリアンデッキの通行のしやすさ
	案内	案内のわかりやすさ
	バス停	バス停の利用のしやすさ
	ベンチ等	ベンチ、休憩施設の利用のしやすさ
	交差点	交差点の横断のしやすさ
B 鉄道駅	ホーム	ホーム上の移動や待機のしやすさ
	ブロック	視覚障害者誘導用ブロックの利用のしやすさ
	上下移動	構内の上下移動のしやすさ
	改札口	改札口や通路の通行のしやすさ
	トイレ	トイレや乳幼児用設備等の利用のしやすさ
	案内	現地での案内のわかりやすさ
C 乗り物	乗降(電車・バス・タクシー)	車両の乗り降りのしやすさ
	優先席(電車・バス)	優先席、フリースペースの利用のしやすさ
	案内(電車・バス)	車両内の案内のわかりやすさ
	介助(電車・バス・タクシー)	介助の受けやすさ
D 建築物	通路	通路、出入り口の通行のしやすさ
	上下移動	上下移動のしやすさ
	トイレ	トイレや乳幼児用設備等の利用のしやすさ
	サイン	案内板等の案内のわかりやすさ
	駐車	駐車場の車椅子使用者用駐車スペースの利用のしやすさ
	介助	介助の受けやすさ
E 駅周辺 全体	施設間の移動	駅や施設相互間の移動のしやすさ
	乗り継ぎ	鉄道とバス・タクシーの乗り継ぎのしやすさ
	エリア全体	駅周辺エリア全体のバリアフリーのまちづくり
	BF情報	インターネットによるバリアフリー情報の入手のしやすさ

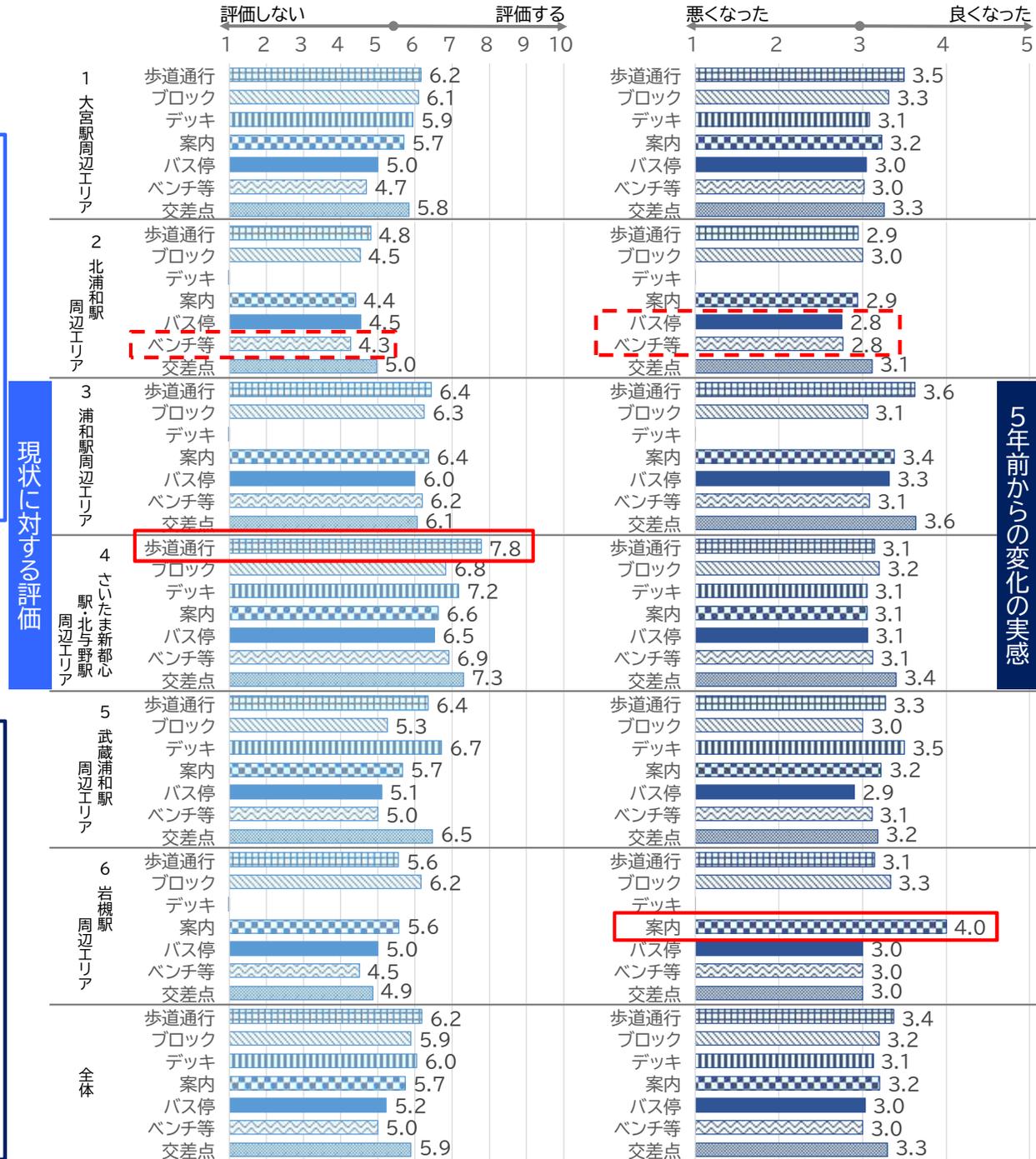
アンケート調査結果【エリア別集計】

現状に対する評価(A 道路)

- 4 さいたま新都心駅・北与野駅周辺エリア
「歩道の通行のしやすさ」が最も高い。
- 2 北浦和駅周辺エリア
「ベンチ、休憩施設の利用のしやすさ」が最も低い。

5年前からの変化の実感(A 道路)

- 6 岩槻駅周辺エリア
「案内のわかりやすさ」が最も高い。
- 2 北浦和駅周辺エリア
「バス停の利用のしやすさ」、
「ベンチ、休憩施設の利用のしやすさ」が最も低い。



※ 2 北浦和駅周辺、3 浦和駅周辺、6 岩槻駅周辺はペDESTリアンデッキなし。

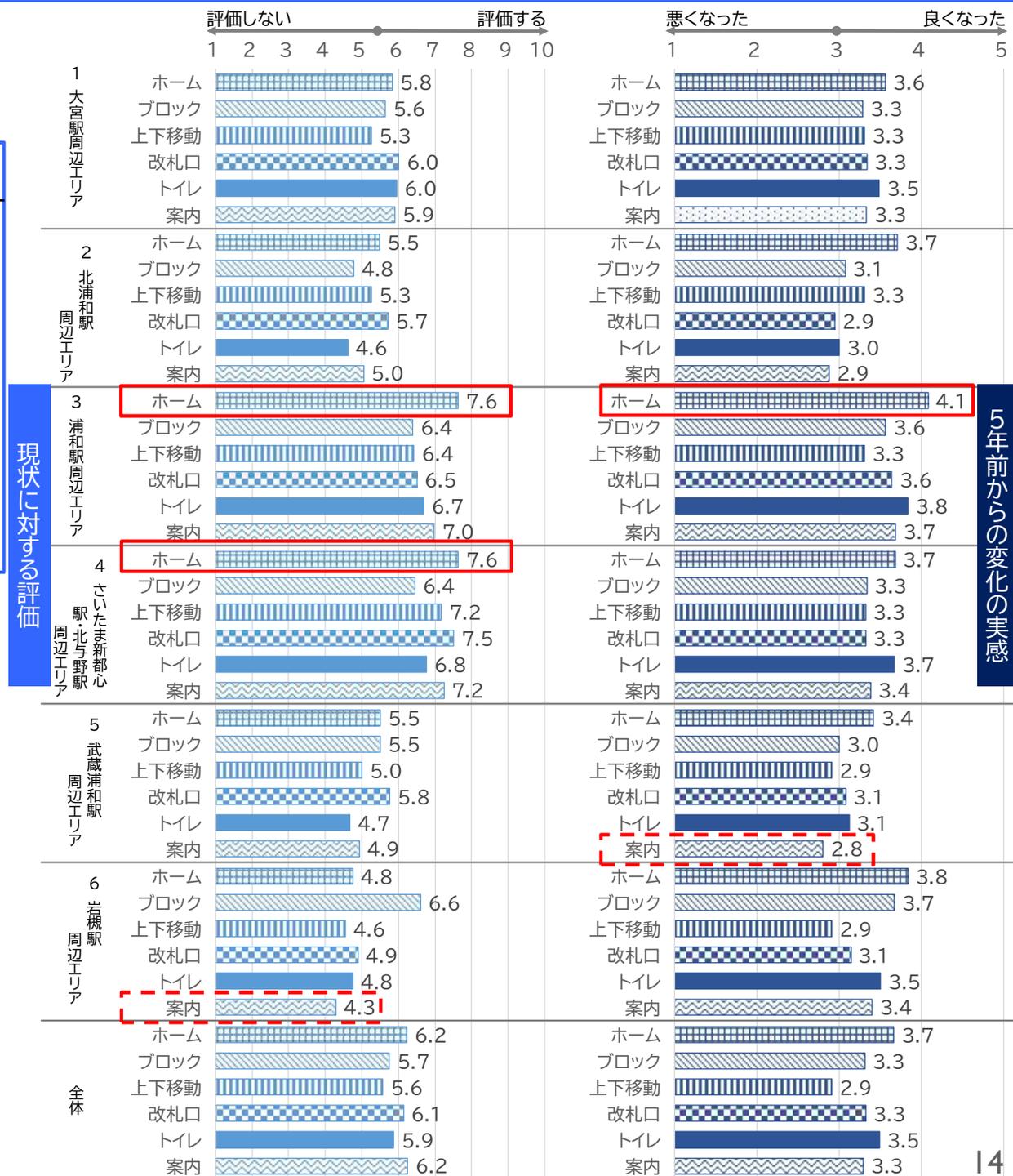
アンケート調査結果【エリア別集計】

現状に対する評価(B 鉄道駅)

- 4 さいたま新都心駅・北与野駅周辺エリア、3 浦和駅周辺エリア
「ホーム上の移動や待機のしやすさ」が最も高い。
- 6 岩槻駅周辺エリア
「現地での案内のわかりやすさ」が最も低い。

5年前からの変化の実感(B 鉄道駅)

- 3 浦和駅周辺エリア
「ホーム上の移動や待機のしやすさ」が最も高い。
- 5 武蔵浦和駅周辺エリア
「現地での案内のわかりやすさ」が最も低い。



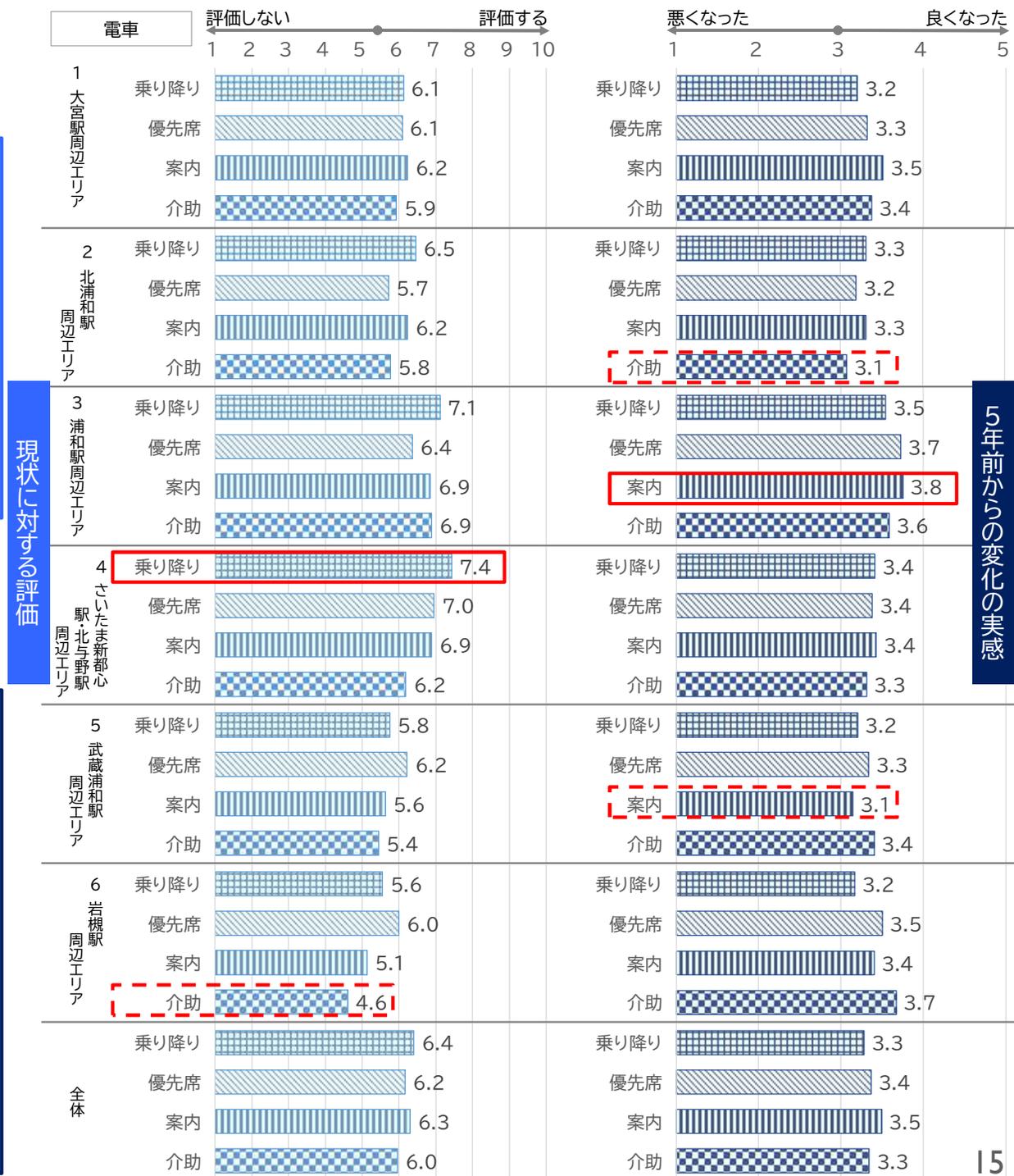
アンケート調査結果【エリア別集計】

現状に対する評価(C-1 電車)

- 4 さいたま新都心駅・北与野駅周辺エリア
「電車(車両)の乗り降りのしやすさ」が最も高い。
- 6 岩槻駅周辺エリア
「駅係員等からの介助の受けやすさ」が最も低い。

5年前からの変化の実感(C-1 電車)

- 3 浦和駅周辺エリア
「電車の案内のわかりやすさ」が最も高い。
- 2 北浦和駅周辺エリア
「駅係員等からの介助の受けやすさ」
- 5 武蔵浦和駅周辺エリア
「電車の案内のわかりやすさ」が最も低い。



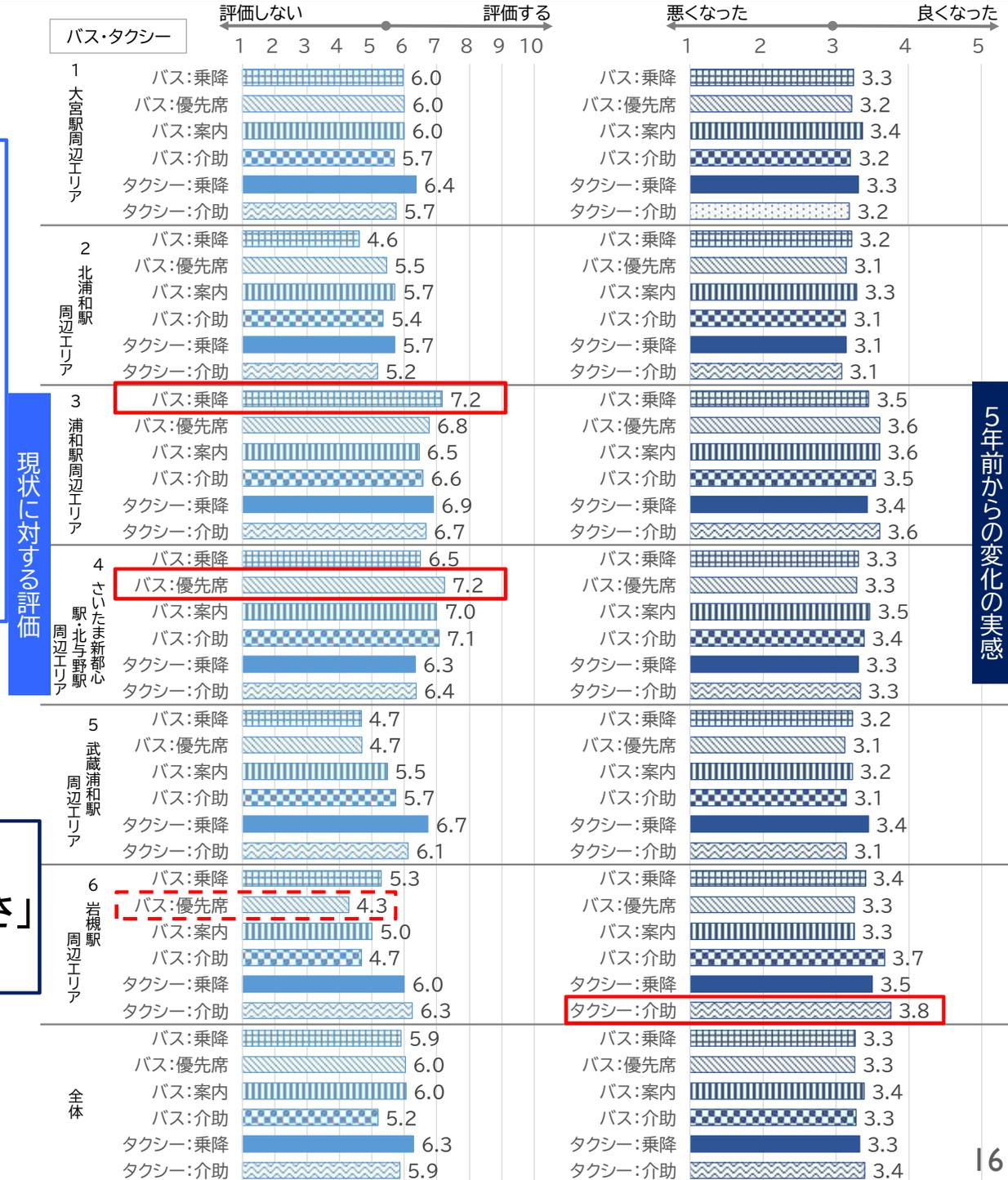
アンケート調査結果【エリア別集計】

現状に対する評価(C-2 バス・タクシー)

- 3 浦和駅周辺エリア
「バス(車両)の乗り降りのしやすさ」
- 4 さいたま新都心駅・北与野駅周辺エリア
「バスの優先席の利用のしやすさ」
が最も高い。
- 6 岩槻駅周辺エリア
「バスの優先席の利用のしやすさ」
が最も低い。

5年前からの変化の実感(C-2 バス・タクシー)

- 6 岩槻駅周辺エリア
「バス・タクシー(運転手)の介助の受けやすさ」
が高い。



5年前からの変化の実感

現状に対する評価

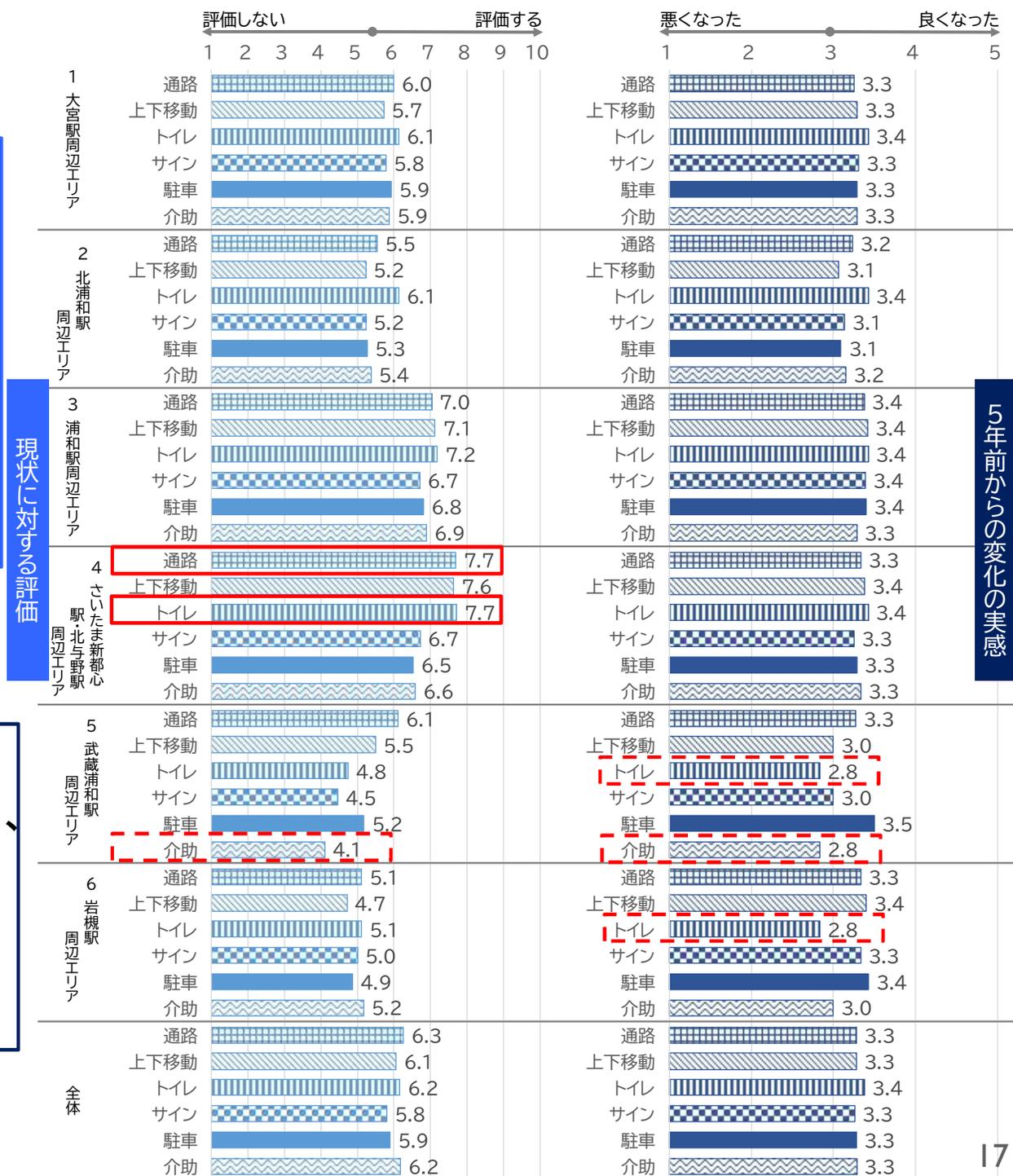
アンケート調査結果【エリア別集計】

現状に対する評価(D 建築物)

- 4 さいたま新都心駅・北与野駅周辺エリア
「通路、出入口の通行のしやすさ」、
「トイレや乳幼児設備の利用のしやすさ」が最も高い。
- 5 武蔵浦和駅周辺エリア
「スタッフの介助の受けやすさ」が最も低い。

5年前からの変化の実感(D 建築物)

- 5 武蔵浦和駅周辺エリア
「トイレや乳幼児設備の利用のしやすさ」、
「介助の受けやすさ」
- 6 岩槻駅周辺エリア
「トイレや乳幼児設備の利用のしやすさ」が最も低い。



5年前からの変化の実感

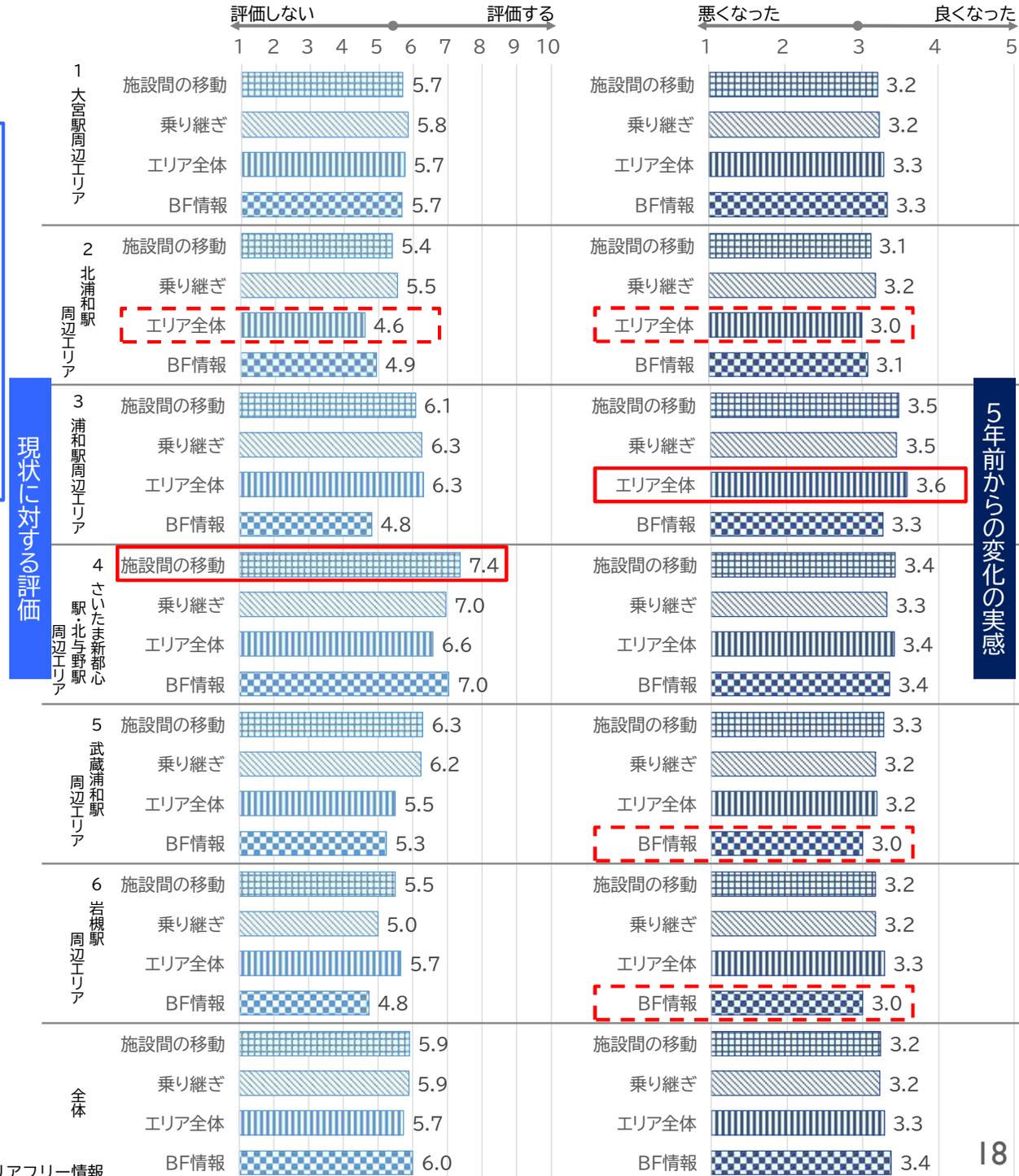
アンケート調査結果【エリア別集計】

現状に対する評価(E 駅周辺全体)

- 4 さいたま新都心駅・北与野駅周辺エリア
「駅や施設相互間の移動のしやすさ」が最も高い。
- 2 北浦和駅周辺エリア
「駅周辺エリア全体のバリアフリー」が最も低い。

5年前からの変化の実感(E 駅周辺全体)

- 3 浦和駅周辺エリア
「駅周辺エリア全体のバリアフリー」が最も高い。
- 2 北浦和駅周辺エリア
「駅周辺エリア全体のバリアフリー」、
5 武蔵浦和駅周辺、6 岩槻駅周辺エリア
「インターネットによるバリアフリー情報の入手のしやすさ」が最も低い。



※BF情報：バリアフリー情報

アンケート調査結果【エリア別集計】

現状に対する評価(一覧)

- エリアごとの全体的な特徴を把握するため、現状に対する評価を一覧表で整理。
- 10段階評価の中央値である5.5を境に、評価が高いほど濃い青色、低いほど濃い黄色のグラデーションとしている。
- さいたま新都心駅・北与野駅周辺エリア、浦和駅周辺エリアは、全体的に評価が高い。
- 一方、北浦和駅周辺エリア、岩槻駅周辺エリアは、全体的に評価が低い。

		1 大宮駅 周辺エリア	2 北浦和駅 周辺エリア	3 浦和駅 周辺エリア	4 さいたま新 都心駅・ 北与野駅 周辺エリア	5 武蔵浦和駅 周辺エリア	6 岩槻駅 周辺エリア
A 道路	歩道通行	6.2	4.8	6.4	7.8	6.4	5.6
	ブロック	6.1	4.5	6.3	6.8	5.3	6.2
	デッキ	5.9			7.2	6.7	
	案内	5.7	4.4	6.4	6.6	5.7	5.6
	バス停	5.0	4.5	6.0	6.5	5.1	5.0
	ベンチ等	4.7	4.3	6.2	6.9	5.0	4.5
	交差点	5.8	5.0	6.1	7.3	6.5	4.9
B 鉄道駅	ホーム	5.8	5.5	7.6	7.6	5.5	4.8
	ブロック	5.6	4.8	6.4	6.4	5.5	6.6
	上下移動	5.3	5.3	6.4	7.2	5.0	4.6
	改札口	6.0	5.7	6.5	7.5	5.8	4.9
	トイレ	6.0	4.6	6.7	6.8	4.7	4.8
	案内	5.9	5.0	7.0	7.2	4.9	4.3
C 乗り物	電車:乗り降り	6.1	6.5	7.1	7.4	5.8	5.6
	電車:優先席	6.1	5.7	6.4	7.0	6.2	6.0
	電車:案内	6.2	6.2	6.9	6.9	5.6	5.1
	電車:介助	5.9	5.8	6.9	6.2	5.4	4.6
	バス:乗降	6.0	4.6	7.2	6.5	4.7	5.3
	バス:優先席	6.0	5.5	6.8	7.2	4.7	4.3
	バス:案内	6.0	5.7	6.5	7.0	5.5	5.0
	バス:介助	5.7	5.4	6.6	7.1	5.7	4.7
	タクシー:乗降	6.4	5.7	6.9	6.3	6.7	6.0
	タクシー:介助	5.7	5.2	6.7	6.4	6.1	6.3
D 建築物	通路	6.0	5.5	7.0	7.7	6.1	5.1
	上下移動	5.7	5.2	7.1	7.6	5.5	4.7
	トイレ	6.1	6.1	7.2	7.7	4.8	5.1
	サイン	5.8	5.2	6.7	6.7	4.5	5.0
	駐車	5.9	5.3	6.8	6.5	5.2	4.9
	介助	5.9	5.4	6.9	6.6	4.1	5.2
E 駅周辺全体	施設間の移動	5.7	5.4	6.1	7.4	6.3	5.5
	乗り継ぎ	5.8	5.5	6.3	7.0	6.2	5.0
	エリア全体	5.7	4.6	6.3	6.6	5.5	5.7
	BF情報	5.7	4.9	4.8	7.0	5.3	4.8

※2北浦和駅周辺、3浦和駅周辺、6岩槻駅周辺エリアはペDESTリアンデッキなし。

アンケート調査結果【エリア別集計】

1 大宮駅周辺エリア

道路の「ベンチ、休憩施設の利用のしやすさ」、
「バス停の利用のしやすさ」が低い。

▶ ベンチが少ないことやバス乗降口の案内が分かりにくいことが一因と考えられる。（まちあるき結果より）

2 北浦和駅周辺エリア

道路の評価が全体的に低い。

▶ 他エリアに比べて、用地買収等を進捗させることが物理的に難しい路線が多いことが一因と考えられる。

3 浦和駅周辺エリア

鉄道駅の「ホーム上の移動や待機のしやすさ」が高い。

▶ ホームドアの設置が一因と考えられる。
（大宮駅、北浦和駅、さいたま新都心駅もホームドア設置済）

4 さいたま新都心駅・北与野駅周辺エリア

「道路」、「鉄道駅」、「建築物」が全体的に高い。

▶ 再開発に伴い道路整備が行われたこと、さいたま新都心駅及び主な駅周辺施設が比較的新しいが一因と考えられる。

5 武蔵浦和駅周辺エリア

建築物の「介助の受けやすさ」が特に低い。

▶ 要因不明のため、まちあるき等で詳細確認が必要

6 岩槻駅周辺エリア

鉄道駅の「現地での案内のわかりやすさ」が特に低い。

▶ エレベーターの位置が分かりにくいことが一因と考えられる。（まちあるき結果より）

		1 大宮駅 周辺エリア	2 北浦和駅 周辺エリア	3 浦和駅 周辺エリア	4 さいたま新 都心駅・ 北与野駅 周辺エリア	5 武蔵浦和駅 周辺エリア	6 岩槻駅 周辺エリア
A 道路	歩道通行	6.2	4.8	6.4	7.8	6.4	5.6
	ブロック	6.1	4.5	6.3	6.8	5.3	6.2
	デッキ	5.9			7.2	6.7	
	案内	5.7	4.4	6.4	6.6	5.7	5.6
	バス停	5.0	4.5	6.0	6.5	5.1	5.0
	ベンチ等	4.7	4.3	6.2	6.9	5.0	4.5
	交差点	5.8	5.0	6.1	7.3	6.5	4.9
B 鉄道駅	ホーム	5.8	5.5	7.6	7.6	5.5	4.8
	ブロック	5.6	4.8	6.4	6.4	5.5	6.6
	上下移動	5.3	5.3	6.4	7.2	5.0	4.6
	改札口	6.0	5.7	6.5	7.5	5.8	4.9
	トイレ	6.0	4.6	6.7	6.8	4.7	4.8
	案内	5.9	5.0	7.0	7.2	4.9	4.3
C 乗り物	電車:乗降り	6.1	6.5	7.1	7.4	5.8	5.6
	電車:優先席	6.1	5.7	6.4	7.0	6.2	6.0
	電車:案内	6.2	6.2	6.9	6.9	5.6	5.1
	電車:介助	5.9	5.8	6.9	6.2	5.4	4.6
	バス:乗降	6.0	4.6	7.2	6.5	4.7	5.3
	バス:優先席	6.0	5.5	6.8	7.2	4.7	4.3
	バス:案内	6.0	5.7	6.5	7.0	5.5	5.0
	バス:介助	5.7	5.4	6.6	7.1	5.7	4.7
	タクシー:乗降	6.4	5.7	6.9	6.3	6.7	6.0
	タクシー:介助	5.7	5.2	6.7	6.4	6.1	6.3
D 建築物	通路	6.0	5.5	7.0	7.7	6.1	5.1
	上下移動	5.7	5.2	7.1	7.6	5.5	4.7
	トイレ	6.1	6.1	7.2	7.7	4.8	5.1
	サイン	5.8	5.2	6.7	6.7	4.5	5.0
	駐車	5.9	5.3	6.8	6.5	5.2	4.9
	介助	5.9	5.4	6.9	6.6	4.1	5.2
E 駅周辺全体	施設間の移動	5.7	5.4	6.1	7.4	6.3	5.5
	乗り継ぎ	5.8	5.5	6.3	7.0	6.2	5.0
	エリア全体	5.7	4.6	6.3	6.6	5.5	5.7
	BF情報	5.7	4.9	4.8	7.0	5.3	4.8

※2北浦和駅周辺、3浦和駅周辺、6岩槻駅周辺エリアはペDESTリアンデッキなし。

アンケート調査結果【障害別等自由意見】

視覚障害の方による主な自由意見(1/2)

● : 良い点 ▲ : 改善すべき点

○道路について多く意見があった。

●道路：視覚障害者誘導用ブロックや音響式信号機が増えた。

▲道路：凹凸の解消や、自転車の走行・駐輪や視覚障害者誘導用ブロックに関するマナー啓発、照明による明るさの確保、音響式信号機のさらなる設置・音量調整。

<歩道等の凹凸について>

▲道路の段差を無くしてほしい。レンガの出っ張りやタイルの破損・剥離が通行の妨げになっている。

<自転車について>

- ▲自転車に何度もぶつかられた事がある。逆走をさせないように工夫する、自転車レーンをわかりやすくする、自転車専用レーンを作るなど、改善してほしい。
- ▲歩行者ゾーンと自転車ゾーンが分けられていても、ルールが守られておらず、安心して歩けない。
- ▲路上駐輪のとりしまりをしてほしい。駐輪させている店舗への指導をしてほしい。

<照明について>

- ▲視覚障害者(弱視)にとって、一番大事な設備は街灯(照明)の明るさ。埼京線沿線の駅周辺は、バスやタクシーの乗場すら認識できない。
- ▲暗い道が多いため、電灯をもう少し整備してほしい。

<視覚障害者誘導用ブロックについて>

- 視覚障害者誘導用ブロックが増えて一人で歩きやすくなった。
- ▲視覚障害者誘導用ブロックの誘導が悪い。
- ▲視覚障害者誘導用ブロックの上を平気で歩かれたり、おしゃべりされたりして、非常に嫌な思いをしている。
- ▲視覚障害者誘導用ブロックの上に自転車やバイクが置いてあることが多く、困っている。

<音響式信号機について>

- 音響式信号機が増えて一人で歩きやすくなった。
- ▲もう少し広範囲に音響式信号をつけてもらいたい。
- ▲音響式信号の音がもう少し大きいとよい。

<その他>

- ▲店の前などの道路に色々なものが出ていて歩く時に危険。
- ▲(白杖を)蹴飛ばされたことがある。白杖についてもっと周知してほしい。

アンケート調査結果【障害別等自由意見】

視覚障害の方による主な自由意見(2/2)

● : 良い点 ▲ : 改善すべき点

- 鉄道駅 : ホームドア・視覚障害者誘導用ブロックの設置や介助の手配。
- ▲ 鉄道駅 : ホームドアの更なる設置、人とぶつからないための動線確保。
- ▲ 鉄道・バス共通 : 分かりやすい案内、駅員に支援を求める際の仕組みづくり。

<鉄道駅について>

- 転落防止のホームドアや視覚障害者誘導用ブロックがあり、便利。
- ▲ ホームドアを全路線につけてほしい。
- ▲ 他の駅利用者が視覚障害者誘導用ブロックをよけて歩くような工夫をしてほしい。アナウンスだけでは効果はないように思う。
- ▲ 人とぶつからないよう、右側通行の徹底や歩行動線の区分をお願いしたい。
- ▲ 切符を買う時やトイレに白杖の置き場があると大変助かる。
- ▲ 駅内放送が重なりすぎて、音も大きすぎて、ノイズにしか聞こえない。
- 駅改札で駅員の方に伝えると目的地までの乗り換えの介助を手配してくれるため、介助者なしで動けるようになった。
- ▲ 改札に駅員がないときが増えたため、支援を求められるかどうか分からない。呼び出しボタンも自分では探せないため、何かいいシステムを導入してほしい。

<バスについて>

- ▲ バスの乗務員には、混雑状況に応じて介助、誘導を音声だけでもよいのでしてほしい。いつもと違う場所に止められると混乱する。
- ▲ バス停にて、行き先がはっきり聞こえるようにしてほしい。

<その他全般について>

- 駅周辺は以前に比べ整備が進んでいる。
- ▲ 点字による案内を増やしてほしい。
- ▲ 階段は、そこに階段があることがわかりやすいデザインにしてほしい。(色を変える、段鼻に色をつける等)特にタイル状の模様の階段だと段差部分が分からない。
- ▲ 電光掲示板や案内図などの文字の大きさをより大きく見やすくしてほしい。

アンケート調査結果【障害別等自由意見】

聴覚障害・言語障害の方による主な自由意見

●：良い点 ▲：改善すべき点

- 鉄道駅：電子掲示板による案内がわかりやすい。
- ▲ 鉄道駅：アナウンス等を視覚情報として表示することや、はっきりとわかりやすい音声情報の提供、案内が聞こえやすい環境の確保（複数意見）。
- ▲ その他：目に見えにくい障害であるため、適切な人的対応が行われていない。

<鉄道駅における視覚情報について>

- 電子掲示板にて細かく説明されているため、とてもわかりやすい。
- ▲ 電車が止まったり、トラブルが起きた際の情報が分かりにくい（アナウンスのみだったり、電光掲示板の情報量が足りなかったりする）。
- ▲ ホームの放送を可視化できるようモニターを設置してほしい。

<人的対応・心のバリアフリー>

- ▲ 杖等の利用の場合、手助けがあるが、難聴の場合は聞こえないのに早口、小声で話されたりする。全く解らず、対応が出来なくなる。
- ▲ 頼んでいないのに勝手に手話通訳者と会話することにされる。（口話できるのに）
- ▲ 窓口で筆談希望と伝えても、口話で対応されることがある。

<音声案内について>

- ▲ 放送の音が小さすぎて、聞き取れない事が多くて困る。
- ▲ 新都心駅コンコースにあるピアノや、さいたま市のビジョンから流れる音声うるさくて、券売機の音声聞こえず使えない。

アンケート調査結果【障害別等自由意見】

肢体不自由の方による主な自由意見

●：良い点 ▲：改善すべき点

- ▲道路：凹凸解消や幅員の確保、建築物の段差解消、車椅子使用者専用駐車区画の増設、エレベーターの利用しやすさ向上。
- 建築物・トイレ：バリアフリー化となっているため、利用しやすい。
- ▲トイレ：大型ベッドの設置や、手すりの設置。

<道路について>

- ▲歩道の凸凹に引っ掛かり転倒したことがある。
- ▲道路の幅が狭いところがある。

<建築物について>

- 新しくできた建物は、バリアフリーになっているため、利用しやすい。
- ▲段差が多く入れない場所がある。なるべくフラットかスロープにしてほしい。

<駐車場について>

- ▲車椅子使用者用駐車区画を増やしてほしい。
- ▲健常者が車椅子使用者用駐車区画に停めないように対策してほしい。

<トイレについて>

- バリアフリートイレが増えてきて嬉しい。
- ▲バリアフリートイレに大型ベッドをおいてほしい。
- ▲手すりを増やしてほしい。

<鉄道駅について>

- 駅員さんの対応がよい。
- ▲駅のホームや構内にベンチが少ない。電車の本数が少ないのにベンチが少ないと、待ち時間に立っているのは大変。
- ▲駅によってはエレベーターがせまくて小さい。
- ▲大宮駅のエレベーターが端にあり、歩くのが大変。
- ▲改札の幅が狭い。
- ▲京浜東北線のように、他の電車もスロープなしで乗れるようになってほしい。
- ▲駅のホームに車いすエリア(電車との幅が狭くなっているところ)があるのはありがたいが、そこから乗車しても車椅子スペースがないことが多く少し不便。

<バス停について>

- ▲駅からバス停までが遠く、屋根がないところもあるため、雨天時は歩行障害がある身からすると命に係わる問題。

アンケート調査結果【障害別等自由意見】

内部障害・難病の方による主な自由意見

●：良い点 ▲：改善すべき点

- 鉄道駅：駅員の対応が良い。
- ▲道路：歩道のスペース確保や路面状況の改善。
- ▲施設全体：エレベーターやエスカレーター等の上下移動設備の利用しやすさや、座って休むことのできる場所の確保。

<鉄道駅について>

- 駅員さんの対応がよい。
- ▲ 駅のホームは、イスの数が少なく、いつも座って電車を待つことができない。ホームのイスにも、障害者優先スペース(優先イス)があると有難い。
- ▲ 心機能障害者としては上下移動がしやすくなってほしい。エレベーターの位置が駅に遠い。
- ▲ エレベーターやエスカレーターを設置してほしい。

<道路について>

- ▲ 歩道が狭く、恐怖を感じる所が多い。
- ▲ 路面状況が悪いことが多い(凸凹している)。
- ▲ 歩道はフラット化をさらに推進して、路面素材についてもデザイン性よりも通行しやすいことも優先して整備してほしい。

<建築物について>

- ▲ 上下移動設備が階段しかない建物に、手すりすらないことがある。

<バスについて>

- ▲ バス停に一つでもいいので椅子があると助かる。
- ▲ バスをノンステップ方式に改善してほしい。

<その他>

- ▲ 急に体調が悪くなったときに休めるスペースが少ない。
- ▲ 座れる場所が増えるとよい。

アンケート調査結果【障害別等自由意見】

知的障害・発達障害・精神障害の方による主な自由意見

●：良い点
▲：改善すべき点

- 電車・バス：待つことが苦手という特性に対して、次に来る案内表示があることで、落ち着いて待てるようになった。
- 鉄道：ホームドアの設置により、安全・安心に移動できるようになった。
- ▲ 全体：聞き取りやすい音声案内や、文字による案内表示、パニックになった際に落ち着けるスペースの確保、駐車場の利便性向上。

<電車・バスについて>

- 特性上、待つことが苦手だが、次に来る電車・バスの情報が電光掲示板に表示されるおかげで、落ち着いて待てるようになった。
- ▲ バス乗車時の障害者手帳開示における配慮をしてほしい(精神障害)。
- ▲ バスの運転手のアナウンスが聞き取りにくいいため、はっきり聞き取りやすく案内していただけるような研修を実施してほしい。

<鉄道駅について>

- ホームドアが設置され、本人だけで安全に外出できるようになった。
- ホームドアが増えたため、倒れる発作について心配が少なくなった。
- ▲ ホームドアをより増やしてほしい。

<案内について>

- ▲ 道案内版、標識等の見やすさ、読みやすさの工夫が必要だと感じる。
- ▲ 音声による案内は聞き取りにくいいため、文字による表示を増やしてほしい(発達障害による特性)。

<その他>

- ▲ 空港等で広がっている、パニックになった際冷静になるための「カームダウン・クールダウン」スペースが増えたと助かる。
- ▲ 特性上、公共の乗り物より自家用車での移動の方が良い場合が多いため、障害者手帳提示での駐車場の割引対象施設を増やしてほしい。
- ▲ 外形上障害だと分からない人が困っている時、助けが必要な時に助けを求められるように、外出先で案内窓口のようなところがあるとありがたい。

アンケート調査結果【障害別等自由意見】

高齢者団体の方による主な自由意見

●：良い点 ▲：改善すべき点

- 道路：道路整備により歩きやすさが向上。
- ▲道路：歩道の小さな段差の解消や、タイルの剥離等の補修。
- ▲鉄道駅：エレベーター、上り・下り両方のエスカレーターの設置、案内の充実。
- ▲バス：乗降のしやすさや、ベンチの設置。
- ▲その他：バリアフリートイレの増設。

<道路について>

- 歩道が広くなり、歩きやすくなった。
- ▲道路のちょっとしたでっぱり(段差)につまずく。極力減らしてほしい。
- ▲道路等のタイルのはがれ等の補修が遅い。

<鉄道駅について>

- ▲大宮駅東口のエスカレーター、エレベーターの設置を切に望む。
- ▲駅のエスカレーターは上りしかないところがあるが、老人にとっては下りの階段は大変あぶないため、下りのエスカレーターも必要。
- ▲大宮駅東口出口のエレベーターの場所が分かりにくい。

<バスについて>

- ▲高齢者はバスの乗降が大変。
- ▲駅周辺は広い割にベンチがない。

<その他>

- サイン等表示が大きくなり、わかりやすくなった。
- ▲バリアフリートイレを増設してほしい。

アンケート調査結果【障害別等自由意見】

子育て団体の方による主な自由意見

●：良い点 ▲：改善すべき点

- ▲鉄道駅：エレベーターの利用しやすさ向上。
- ▲バス・電車：ベビーカーで乗車する際に、周囲の理解ある対応。
- 建築物：商業施設のベビーケアルームの清潔感や充実している。

<鉄道駅について>

- ▲ もっと駅構内に段差が無い道が増えてほしい。エレベーターまで遠回りしなければ行けない場所を減らしてほしい。
- ▲ 大宮駅のエレベーターには、いつも人がたくさん乗ってなかなか乗れない。
- ▲ 大宮駅の東武線→JRコンコース→JR線の移動は何度もエレベーターを乗り継ぐ必要があり大変。
- ▲ 駅コンコースや構内など、人が入り乱れて歩くので、子ども連れで移動するのが怖い。

<建築物について>

- ルミネ大宮はベビーケアルームが充実していて、清潔感があり、外出時に助かっている。そごう大宮店、大宮マルイ等も利用しやすい。

<バスについて>

- ▲ 子ども連れやベビーカーでのバスの利用に対し、もっと理解ある対応や、まわりの方々のあたたかな目や手助けがあると、外出する勇気が出る。

<電車について>

- ▲ 電車の中でベビーカーを使う時のストレス(場所をとる)が減るような工夫があればよいと思う。

アンケート調査結果【特定事業ごとの評価と課題】

公共交通特定事業に関する評価・課題点

●：良い点 ▲：改善すべき点

- ①職員のバリアフリー教育：●職員の対応が評価されている。
▲職員がいない時間が増えていることへの対応、音声案内の充実やわかりやすさの向上が課題。
- ②情報提供：●電光掲示板での案内が評価されている。
▲聴覚障害者向けのさらなる視覚情報の充実が課題。

<公共交通特定事業の内容(抜粋)>

①職員のバリアフリー教育

- ✓ 職員へのバリアフリー対応を指導する(職員研修の実施等)

②情報提供

- ✓ バス停における時刻表、運行状況等の情報を充実させる。
- ✓ 案内の充実を図る。(鉄道)

<公共交通特定事業に関する自由意見>

- 駅員さんの対応がよい。
- 駅改札で駅員の方に伝えると目的地までの乗り換えの介助を手配してくれるため、介助者なしで動けるようになった。
- ▲ 改札に駅員がいないときが増えたため、支援を求められるかどうか分からない。呼び出しボタンも自分では探せないため、何かいいシステムを導入してほしい。
- ▲ バスの乗務員には、混雑状況に応じて介助、誘導を音声だけでもよいのでしてほしい。いつもと違う場所に止められると混乱する。(視覚障害)
- ▲ 駅のホームやバス停の放送は、はっきりわかりやすく話してほしい。

- 特性上、待つことが苦手だが、次に来る電車・バスの情報が電光掲示板に表示されるおかげで、落ちついて待てるようになった。(発達障害)
- 電車を利用する時に、電子掲示板にて、細かく説明されているため、とてもわかりやすい。
- ▲ 電車が止まったり、トラブルが起きた際の情報が分かりにくい(アナウンスのみだったり、電光掲示板の情報量が足りなかったりする)。(聴覚障害)
- ▲ ホームの放送を可視化できるようモニターを設置してほしい。(聴覚障害)

アンケート調査結果【特定事業ごとの評価と課題】

道路特定事業に関する評価・課題点

●：良い点 ▲：改善すべき点

- ③視覚障害者誘導用ブロック：●ブロック敷設が増えたことが評価されている。
▲その誘導方法の改善が課題。
- ④歩道：●整備された箇所については幅が広がったと評価されている。
▲まだ幅が狭い箇所における有効幅員の確保や、凹凸や破損・剥離の維持管理が課題。

③視覚障害者用誘導ブロック

- ✓ 視覚障害者誘導用ブロックの設置位置及び色を改善する。

- 視覚障害者誘導用ブロックが増えて一人で歩きやすくなった。
▲ 視覚障害者誘導用ブロックの誘導が悪い。

<道路特定事業の内容(抜粋)>

④歩道

- ✓ 歩道の有効幅員を確保するために、道路標識、電柱、街灯柱の移設を検討する。

<道路特定事業に関する自由意見>

- 歩道が広がった。
▲ 道路の幅が狭いところがある。
▲ 店の前などの道路に色々なものが出ていて歩く時に危険。

- ✓ 歩道の段差や勾配を改善する。

- ▲ 道路の段差を無くしてほしい。レンガの出っ張りやタイルの破損・剥離が通行の妨げになっている。
▲ 歩道の凸凹に引っ掛かり転倒したことがある。凹凸を無くしてほしい。
▲ 信号周辺が坂になっているのが不便。

アンケート調査結果【特定事業ごとの評価と課題】

交通安全特定事業に関する評価・課題点

●：良い点 ▲：改善すべき点

- ⑤信号機：●バリアフリー対応信号機の設置が評価されている。
▲さらに広範囲への設置、音の大きさや聞こえやすい周辺環境の整備が課題。
- ⑥自転車マナー：▲特に視覚障害者にとって、自転車の走行や駐輪マナーが課題となっており、マナー啓発を強化していく必要がある。

<交通安全特定事業の内容(抜粋)>

⑤信号機

- ✓ 主要交差点から優先的にバリアフリー対応信号機を設置する。

⑥自転車マナー

- ✓ 自転車利用者へのマナー啓発を実施する。

<交通安全特定事業に関する自由意見>

- 音響式信号機や視覚障害者誘導用ブロックが増えて一人で歩きやすくなった。
- ▲ もう少し広範囲に音響式信号機をつけてもらいたい。
- ▲ 音響式信号機の音がもう少し大きいとよい。
- ▲ 電光掲示板の音量が大きくて信号機の音が聞こえにくい。

- ▲ 視覚障害があり、**自転車に何度もぶつかられた**事がある。逆走をさせないように工夫する、自転車レーンをわかりやすくする、自転車専用レーンを作るなど、改善してほしい。
- ▲ 歩行者ゾーンと自転車ゾーンが分けられていても、**ルールが守られておらず、安心して歩けない**。障害の有無にかかわらず、事故の被害者・加害者になりうる。(視覚障害者による意見)
- ▲ **視覚障害者誘導用ブロックの上に自転車やバイクが置いてある**ことが多く、困っている。
- ▲ **路上駐輪のとりしまりをしてほしい**。駐輪させている店舗への指導をしてほしい。